

キーワードを入力



主要 国内 国際 経済 エンタメ スポーツ IT 科学 ライフ 地域

オランダ滞在の陛下、平和宮訪問 「真珠の耳飾りの少女」も鑑賞

6/19(金) 6:00 配信



国際司法裁判所の大法廷を視察される天皇陛下。隣は案内役の岩沢雄司 所長=オランダ・ハーグの平和宮で 2026年6月18日、平川義之撮影

オランダ滞在中の天皇陛下は18日、首都アムステルダムを離れて政治の中心地・ハーグを訪問された。マウリッツハイス美術館でイエッテン首相と懇談した後は、ウィレムレクサンダー国王が合流。オランダを代表する画家フェルメールの名作「真珠の耳飾りの少女」をとともに鑑賞し、昼食会に臨んだ。午後はお一人で国際司法裁判所（ICJ）が入る建物「平和宮」を訪れた。

【写真で見る】「真珠の耳飾りの少女」の前で記念撮影に臨まれる天皇陛下

平和宮は国家間の紛争や法律問題を解決する場で、開設にあたって各国が美術品や調度品を寄贈した。陛下は、日本から贈られた西陣織が壁一面に飾られた部屋「日本の間」や、歴代所長の肖像画が飾られている「赤の間」などを見て回った。第22代ICJ所長で皇后雅子さまの父、小和田恒（ひさし）さんの肖像画も飾られていた。

陛下は、国際連盟で活躍し、アジア人初の常設国際司法裁判所（ICJの前身）で所長を務めた安達峰一郎（1869～1934年）に関心を示し、肖像画の場所を尋ねていた。

この日は、ICJの岩沢雄司所長が陛下を案内した。岩沢所長は取材に「国際裁判所は国際紛争を平和的に処理するのが任務。事件が多くなっているとお伝えしたら、（陛下から）ねぎらいの言葉がありました」と話していた。

陛下は前日の晩さん会のおことばで、ICJに言及。ウィレムアレクサンダー国王もスピーチで、皇后雅子さまに「私たちは、お父上が果たされた役割に敬意を表します。世界各地の紛争の平和的解決に尽力されました」と語りかけていた。【ハーグ山田奈緒】

📄 記事に関する報告



【関連記事】

「歴史から学び、平和への努力を」 オランダの晩さん会で天皇陛下 W杯も話題に オランダでの晩さん会、天皇陛下のおことば全文
天皇陛下の「ソフトパワー外交」 オファー絶えぬ海外親善訪問
デーブさんが語る「ロイヤルネタ」の魅力 日本と海外の違いとは
両陛下の元側近つづる感銘 上皇ご夫妻が深めたオランダとの友好